

スポーツバック

取扱説明書

お買い上げいただきありがとうございます。

⚠注意	電気製品は安全のための注意事項を守らないと、火災や人身事故になることがあります。
------------------------------------	--

この取扱説明書には、事故を防ぐための重要な注意事項と製品の取り扱いかたを示しています。この取扱説明書をよくお読みのうえ、製品を安全にお使いください。お読みになった後は、いつでも見られるところに必ず保管してください。

必ずお読みください。
- 必ず事前に、正常に動作するか、水漏れはないかを確認してください。 - 万一、スポーツバックの不具合により水漏れ事故を起こした場合、内部機材（ビデオカメラレコーダー、バッテリーなど）の損傷、および記録内容や撮影に要した諸費用などの補償は、ご容赦ください。 - スポーツバックおよび内部機材に対するソニー水中機材損害保険を用意しております。案内書をお読みのうえ、加入されることをおすすめします。

SPK-DVF5

Sony Corporation © 2003 Printed in Japan

ecoinfo	この説明書は100%古紙再生紙とVOC（揮発性有機化合物）ゼロ植物油性インキを使用しています。
--	---

主な特長

お手持ちのデジタルビデオカメラレコーダーに本機を取りつけると、雨天時や海辺（水中では水深2m以内）での撮影ができます。長時間の水中撮影をする場合は、別売りのマリンバックをご使用ください。

使用可能機種：DCR-TRV5、DCR-TRV9、DCR-TRV10、DCR-TRV17、DCR-TRV18、DCR-TRV20、DCR-TRV27、DCR-TRV30、DCR-TRV50、DCR-TRV70、DCR-TRV900、DCR-TRV950

お問い合わせ窓口のご案内	■テクニカルインフォメーションセンター ご使用上での不明な点や技術的なご質問、および修理受付の窓口です。 製品の品質には万全を期しておりますが、万一不具合が生じた場合は、「テクニカルインフォメーションセンター」までご連絡ください。修理に関するご案内をさせていただきます。また修理が必要な場合は、お客様のお宅まで指定宅配便にて集荷にうかがいますので、まずお電話ください。 電話：0564-62-4979 受付時間：月～金曜日 午前9時～午後5時（ただし、年末、年始、祝日を除く） お電話される際に、本機の型名（SPK-DVF5）をお知らせください。より迅速な対応が可能になります。
電話のおかけ間違いにご注意ください。	

ソニー株式会社	〒141-0001 東京都品川区北品川6-7-35
---------	---------------------------

http://www.sony.co.jp/

安全のために

ソニー製品は、安全に充分配慮して設計されています。しかし、まちがった使いかたをすると、火災などによる人身事故が起きるおそれがあり危険です。事故を防ぐためにつぎのことを必ずお守りください。

- 安全のための注意事項を守る
- 故障したら使わずに、テクニカルインフォメーションセンターに修理を依頼する
- 万一異常が起きたら

変な音やにおいがしたら、煙が出たら	❶ 電源を切る ❷ テクニカルインフォメーションセンターに修理を依頼する
-------------------	---

⚠注意	下記の注意事項を守らないと、けがをすることがあります。
------------------------------------	-----------------------------

衝撃を与えない ガラス部分が割れて、けがの原因となることがあります。	⊘禁止
---------------------------------------	------------------------------------

必ずお読みください。
- 必ず事前に、正常に動作するか、水漏れはないかを確認してください。 - 万一、スポーツバックの不具合により水漏れ事故を起こした場合、内部機材（ビデオカメラレコーダー、バッテリーなど）の損傷、および記録内容や撮影に要した諸費用などの補償は、ご容赦ください。 - スポーツバックおよび内部機材に対するソニー水中機材損害保険を用意しております。案内書をお読みのうえ、加入されることをおすすめします。

ecoinfo	この説明書は100%古紙再生紙とVOC（揮発性有機化合物）ゼロ植物油性インキを使用しています。
--	---

保証書とアフターサービス

保証書

- この製品には保証書が添付されていますので、お買い上げの際お買い上げ店でお受けとりください。
- 所定事項の記入および記載内容をお確かめのうえ、大切に保存してください。
- 保証期間は、お買い上げ日より1年間で す。

アフターサービス

調子が悪いときはまずチェックをこの取扱説明書をもう1度ご覧になってお調べください。

それでも具合の悪いときはテクニカルインフォメーションセンターにご相談ください。

保証期間中の修理は保証書の記載内容に基づいて修理させていただきます。詳しくは保証書をご覧ください。

保証書は国内に限られています
付属している保証書は、国内仕様です。外国で万一、故障、不具合が生じた場合の現地でのアフターサービスおよびその費用については、ご容赦ください。

取り扱い上の注意

- 本体の前にあるガラス面に強い衝撃を与えないでください。割れることがあります。
- 海辺や海上でのスポーツバックの開閉はできるだけ避けてください。ビデオカメラレコーダーの取り付けやテープ交換などは、湿気の少ない、潮風のアたらない場所で行ってください。
- スポーツバックを水中に投げ込まないでください。
- 波が高い場所でのご使用はお避けください。
- 次の場所でのご使用は避けてください。
 - 高温多湿な場所
 - 40℃を越える温水の中
 - 0℃以下の場所
- 結露、水漏れ、ビデオカメラレコーダーの故障の原因になります。
- 周囲温度が35℃を越えるときのご使用は、連続1時間以内にしてください。
- 炎天下に長時間放置しないでください。直射日光のあたる場所に置く場合は、上からタオルなどをかけておいてください。

スポーツバックにサンオイルなどが付着したときは、必ずぬるま湯でよく洗い流してください。付着したまま放置していると、スポーツバック表面の変色やダメージ（表面のヒビなど）の原因となります。
--

水漏れについて

万一内部に水滴などが確認された場合は、ただちにご使用を中止してください。ビデオカメラレコーダーが濡れた場合は、至急テクニカルインフォメーションセンターへご相談ください。

お手入れのしかた

海でのご使用後は、必ず、バックルをはずす前に真水（水道水など）で洗い、塩分をおとしてから、乾いた柔らかい布で水分を拭き取ってください。30分程度、真水に浸しておくことをおすすめします。塩分がついたままにしておくと、金属部分が腐ついたり、さびたりして、水漏れの原因になることがあります。サンオイルなどが付着したときは、ぬるま湯でよく洗い流してください。スポーツバック内部は、乾いた柔らかい布で拭き、水洗いはしないでください。シンナー、ベンジン、アルコールなどは表面の仕上げを傷めますので、使わないでください。

くもり止めリキッドについて
スポーツバック前部のガラス面に付属のくもり止めリキッドを塗布すると、くもり防止に効果があります。

- くもり止めリキッドの使用方法
フロントガラス、アイカップのガラス面の内側に1～2滴たらして、コットン、柔らかい布、ティッシュペーパー等でクリーナー液が均等に広がるように拭いてください。

保管するときは

- 防水バックkinの劣化を防ぐため、ボディを閉じたあとバックルは締めないでください。
- 防水バックkinにホコリがつかないようにしてください。
- 高温、寒冷、多湿な場所や、ナフタリン、樟脳などを入れている場所での保管は、機材を傷めますので避けてください。

各部のなまえ

バックル	電源スイッチ、START/STOPボタン
リア部	PHOTOボタン
	ズームボタン
	フロント部
ショルダーベルト取り付け部	フロントガラス
グリップベルト	ステレオマイク
三脚用ネジ穴	ショルダーベルト取り付け部
	リモートプラグ
	マイクプラグ
防水バックkin	ブラグホルダー
開閉式ミラー	本機をお使いにならないときに、プラグを差し込んでください。台座を取り出すときは、マイクプラグおよびリモートプラグをはずしてから取り出してください。
ショルダーベルト取り付け部	
台座	

主な仕様

材質
プラスチック（PC、ABS）、ガラス
防水構造
防水バックkin、バックル
耐圧
水深2mまで
外部より操作可能な動作
撮影・再生時の電源入／切、録画開始／停止、フォト操作、ズーム操作
最大外形寸法
169×174×261 mm
（幅／高さ／奥行き）
質量
約990 g（本体のみ）
付属品
ショルダーベルト（1）
台座（3）
三脚ネジプレート（1）（台座Dに取り付け済み）
反射防止リング（大、小各1個）
グリス（1）
くもり止めリキッド（1）
取扱説明書（1）
保証書（1）
水中機材用損害保険のご案内（1）

本機の仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがありますがご了承ください。

準備

台座の準備

お手持ちのビデオカメラレコーダーに合わせて取り付ける台座を準備します。

- 下の表で、お手持ちのビデオカメラレコーダーに合う矢印番号を選ぶ。
- 台座に書いてある矢印番号に合わせて、三脚ネジプレート（コイン大のもの）を取り付ける。

台座	矢印番号	ビデオカメラレコーダー
A	1	DCR-TRV9/TRV900
	2	DCR-TRV5
	3	DCR-TRV10/TRV17/TRV18/TRV20/TRV27/TRV30/TRV50
C	—	DCR-TRV950
D	1	DCR-TRV70

台座と三脚ネジプレートの取り付け
製品の出荷時には、三脚ネジプレートは台座Dの矢印番号1の位置に取り付けてあります。台座AおよびCをお使いのかたは、台座Dのネジプレートを取りはずしてお使いください。

三脚ネジプレート
台座

三脚ネジプレートのはずしかた
矢印部を押してはずす。

お手持ちのビデオカメラレコーダーに本機を取りつけると、雨天時や海辺（水中では水深2m以内）での撮影ができます。長時間の水中撮影をする場合は、別売りのマリンバックをご使用ください。
使用可能機種：DCR-TRV5、DCR-TRV9、DCR-TRV10、DCR-TRV17、DCR-TRV18、DCR-TRV20、DCR-TRV27、DCR-TRV30、DCR-TRV50、DCR-TRV70、DCR-TRV900、DCR-TRV950
お問い合わせ窓口のご案内
■テクニカルインフォメーションセンター ご使用上での不明な点や技術的なご質問、および修理受付の窓口です。 製品の品質には万全を期しておりますが、万一不具合が生じた場合は、「テクニカルインフォメーションセンター」までご連絡ください。修理に関するご案内をさせていただきます。また修理が必要な場合は、お客様のお宅まで指定宅配便にて集荷にうかがいますので、まずお電話ください。 電話：0564-62-4979 受付時間：月～金曜日 午前9時～午後5時（ただし、年末、年始、祝日を除く） お電話される際に、本機の型名（SPK-DVF5）をお知らせください。より迅速な対応が可能になります。
電話のおかけ間違いにご注意ください。
ソニー株式会社
〒141-0001 東京都品川区北品川6-7-35
http://www.sony.co.jp/

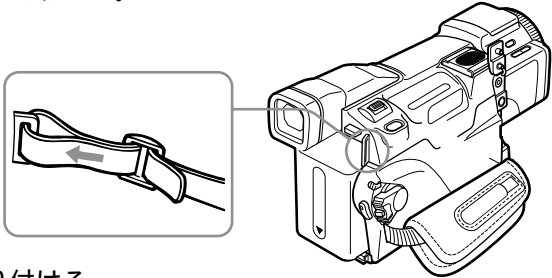
スポーツバックを使う

ビデオカメラレコーダーの準備

ビデオカメラレコーダーの取扱説明書もあわせてご覧ください。

1 ショルダーベルトをはずす。

MCプロテクター、NDフィルター、コンバージョンレンズ、特殊フィルター、レンズフードなども取りはずしてください。

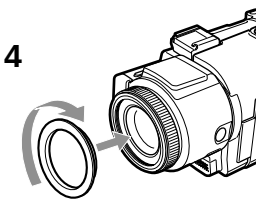


2 バッテリーを取り付ける。

3 カセットを入れる。

4 反射防止リングを取り付ける。(DCR-TRV900/TRV950を除く)

お使いのビデオカメラレコーダーのレンズ径に合った反射防止リングをご使用ください。レンズ径については、お使いのビデオカメラレコーダーの取扱説明書をご覧ください。ビューファインダーが伸ばせる機種は、最大まで伸ばして使用してください。反射防止リングを取り付けることにより、ビデオカメラレコーダーのレンズリング部がフロントガラスへ写り込むのをある程度防ぎます。



5 液晶画面を見ながら撮影するときは、液晶画面を外側に向けて本体に閉じる。

6 ビデオカメラレコーダーのフォーカス、明るさなどの調整が手動になっているときは「自動」に戻す。

ビデオカメラレコーダーの取扱説明書をご覧ください。

7 ファインダーパワーセーブ機能がある場合は「切」にする。

8 フラッシュ及びナイトショット機能があるビデオカメラレコーダーをお使いのかたは「切」にしてください。

9 スタート/ストップモードスイッチがある場合は「」にする。

ビデオカメラレコーダーを取り付ける

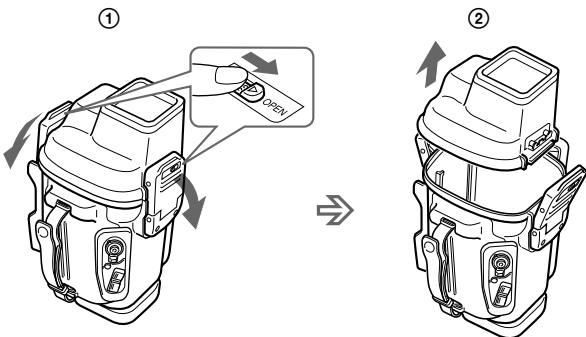
1 台座に取り付ける。

ビデオカメラレコーダー底面の三脚用ネジ穴に台座のネジをあわせませす。



2 スポーツバックを開ける。

- ① ロック解除ボタンを矢印の方向へずらし、バックルをはずす。
- ② 後部ボディーを開く。

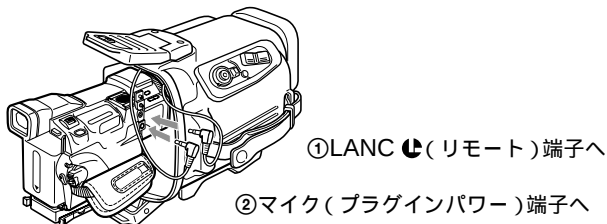


フロントガラスとスポーツバック前部のガラス面の内側に付属のくもり止めリキッドを塗布します。

3 砂やゴミを取り除く。

防水パッキン、溝および本体との接触面の砂やゴミなどをきれいに取り除き、防水パッキンに薄く均一にグリスを塗ります。砂やゴミが付着したままふたを開めると、キズがついて浸水の原因になります。

4 リモートプラグをLANC (リモート) 端子へ (①)、マイクプラグをマイク (プラグインパワー) 端子へ (②) 接続する。

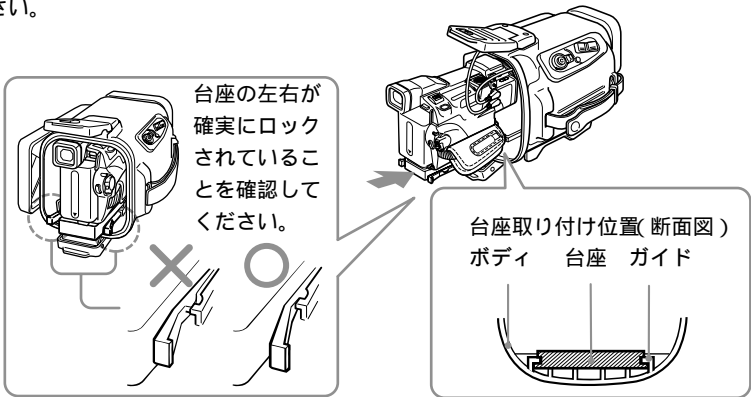


ご注意

ビデオカメラレコーダーの後部に端子があるモデルでは、スポーツバックにビデオカメラレコーダーを途中まで入れてから接続してください。DCR-TRV950をお使いのかたは、マイク装着時にビデオカメラレコーダーのジャックカバーをはさみ込む可能性がありますので、確実に装着されていることを確認の上ご使用ください。

5 スポーツバックに取り付ける。

ビデオカメラレコーダーとスポーツバックを水平に保ち、台座を前部ボディー内のガイドに合わせ、台座の後部を押して、カチッとロックされるまで差し込みます。接続したリモートプラグが、スポーツバックの内部部品に当たらないように差し込んでください。



ご注意

スポーツバックを立てた状態で台座を差し込まないでください。台座やフロント部を傷める原因になります。

6 ビデオカメラレコーダーの電源スイッチを「カメラ」にする。

7 後部ボディーを閉じる。

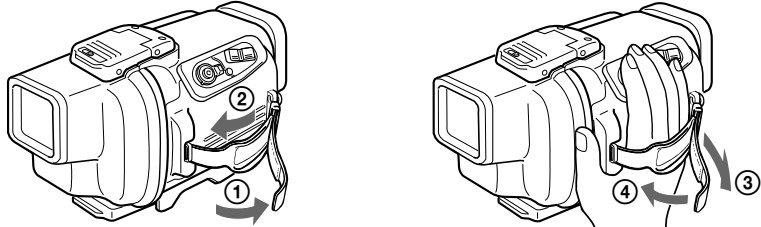
後部ボディーをしっかり押さえ、バックルがカチッとロックされるまで締めます。

ご注意

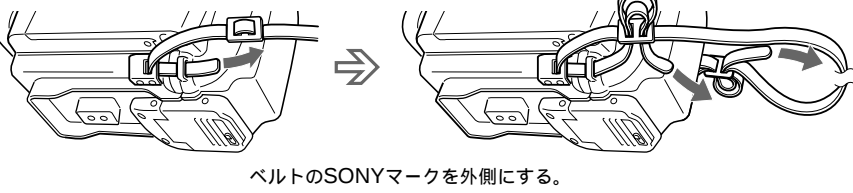
- バックルは両側を同時にロックしてください。片方ずつ締めると、パッキンをはさみ込む可能性があります。
- ビデオカメラレコーダーをスポーツバックに収納したときに、機種によってはレンズの中心がスポーツバックのフロントガラス部中心に対してずれる場合がありますが、撮影等には問題ありません。

8 グリップベルトを調節する。

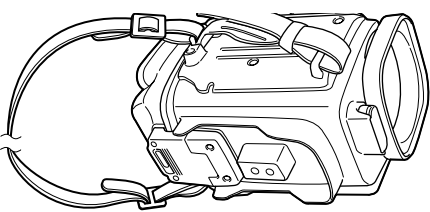
- ① グリップベルトを起こす。
- ② グリップベルトをゆるめる。
- ③ 電源スイッチやSTART/STOPボタン、ズームボタンを操作できるように手の位置を決め、グリップベルトを引っ張って調節する。
- ④ マジックテープで固定する。



9 ショルダーベルトを取り付ける。



ベルトのSONYマークを外側にする。



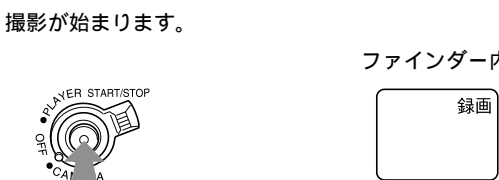
撮影する

機種によっては、ファインダーがのぞきづらい場合があります。

1 電源スイッチを「CAMERA」にする。



2 START/STOPボタンを押す。



3 撮影を一時的に止めるには、START/STOPボタンを押す。

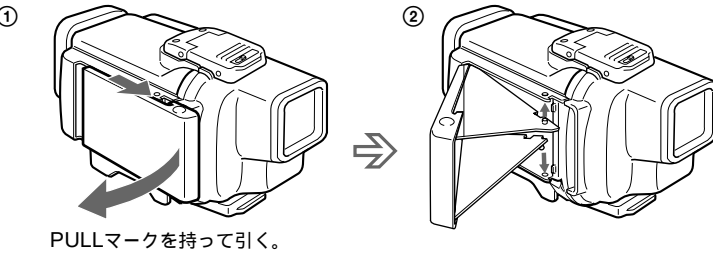
もう1度押すと撮影が再開します。

4 撮影を止めるには、START/STOPボタンを押してから電源スイッチを「OFF」にする。

液晶画面を見ながら撮影する

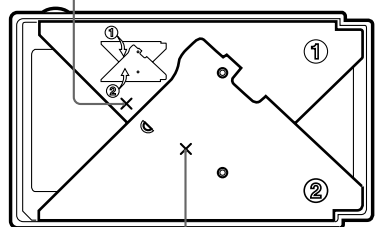
ミラーに映る映像を見ながら撮影することができます。

- ① 開閉式ミラーをずらして開く。
- ② 上下の羽を広げ、突起を穴にはめ込む。



羽を広げる/閉じるときは

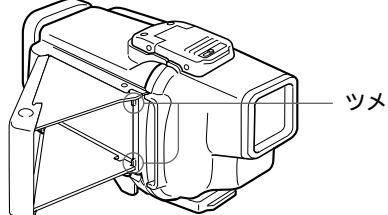
広げるとき：ここを押さえながら②を広げる。



閉じるとき：ここを押してツメをロックする。

ミラーを閉じるときは

ミラー内側のツメを押し、上の羽から閉じます。



ご注意

ビデオカメラによっては、液晶画面の一部が隠れ、見えないことがあります。

ズーミングのしかた

速度が2段階に変化します。

少し押すとゆっくりズーミングし、さらに押すと早くズーミングします。



ご注意

- 撮影一時停止状態が5分以上続くと自動的に電源が切れます。これはバッテリーの消耗を防ぎ、テープを保護するためです。撮影スタンバイに戻すには電源スイッチを「OFF」に戻してから、再び「CAMERA」にします。
- 液晶画面を外側に向けて撮影中は、液晶画面にカウンターが表示されません。
- カメラ側の電源スイッチに関係なく、スポーツバック側の電源スイッチが優先されます。

静止画を撮る - フォト撮影

通常のスチルカメラで撮影するように、静止画を録画できます。

1 電源スイッチを「CAMERA」にする。

2 フォトボタンを押す。

ボタンを押したときの画像が静止画で記録されます。



ご注意

- スポーツバックでフォト撮影をする場合、ビデオカメラ単体で使用するときにように、フォトボタンを半押しして画像を確認することはできません。
- スポーツバックを使ってナイトショット撮影、フラッシュ撮影をすることはできません。
- ビデオカメラレコーダーによってはテープフォトしかできません。

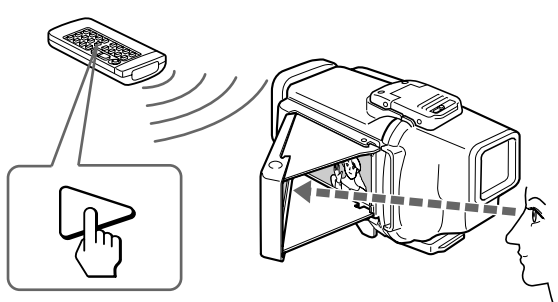
リモコンを使って画像を見る

ビデオカメラレコーダーのリモコンを使って、液晶画面で画像を見ることができます。音声は聞こえません。

1 電源スイッチを「PLAYER」にする。



2 リモコンの▶を押す。



その他の操作 (停止、巻き戻し、早送り) もすべてリモコンで行ってください。

ご注意

画面は左右が反転して見えます。

ビデオカメラレコーダーを取りはずす

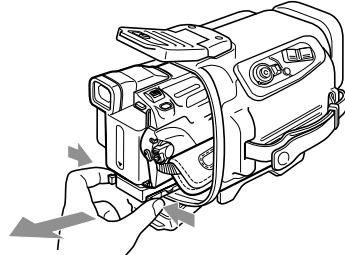
1 バックルをはずして、後部ボディーを開ける。

「ビデオカメラレコーダーを取り付ける」の手順2を参照してください。

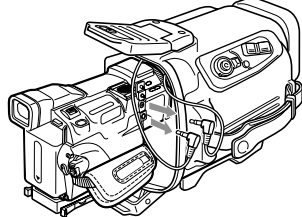
2 ビデオカメラレコーダーの電源スイッチを「切」(充電) にする。



3 台座の両側のノブを押さえるようにしてつかみ、ビデオカメラレコーダーをゆっくりと引き出す。



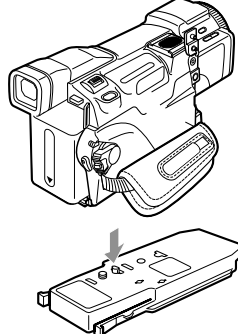
4 リモートプラグとマイクプラグが前部ボディーの外に出てきたところでいったん止め、それぞれのプラグを確実にはずす。



ご注意

プラグが接続されたまま台座を強く引き出すと、プラグを傷める原因になります。

5 台座を取りはずす。



ご注意

スポーツバックを開けるときは、スポーツバックと体についた水分を充分に拭き取ってから開け、水滴が内部のビデオカメラレコーダーにかからないようにしてください。